

学校だより 「花里の子」

令和7年度 第13号 (令和7年10月24日)

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子

ご声援ありがとうございました！

10月18日(土)に第55回運動会を実施しました。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、子どもたちの勇姿に温かいご声援と拍手をいただきました。ありがとうございました。

午前中は「雨は降らない」という天気予報で開会した運動会でしたが、開会式途中から小雨がぱらつき始めました。それでも、子どもたちは練習の成果をおうちの方に見ていただく一生懸命に演技や係活動が続けてくれました。途中、降雨のため中断をはさんで再開しましたが、4年生の表現の直前から再び雨が降り始め、徐々に激しさを増していきました。4年生の子どもたちは、雨をもろともせず、心を一つに気迫のこもったソーランを踊りあげました。よく頑張ってくれました。

子どもたちよりも先に、運動場が音を上げました。グラウンドコンディション不良により、演技する子どもたちの安全確保が難しくなったことから途中中止を決断しました。初めてのトラックリレーを楽しみにしていた3年生や小学校最後の表現をたくさんの方に見ていただきたいと運動会に照準を合わせて練習してきた6年生の気持ちに応えることができない結果になってしまいました。終了後は、6年生の終わりの会に参加し、子どもたちの声に耳を傾けていました。担任は、子どもたちの思いを受け止めつつ、「次に向かって進んでいこう。」と子どもたちを導き、24日(金)に無事に演技を終えることができました。

今年もいろいろな思いが入り交じった運動会となりました。それでも、温かく見守っていただいた保護者の皆様、地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ご声援、ありがとうございました。

残すは、3年生のリレーです。来週実施の予定です。



最強の友だちになろう！

10月の全校集会は、運動会に向けて『ぼくは かける』(作:イ・ハジン 訳:内田麟太郎 フレーベル館)を紹介しました。

お話は、「ぼくは かける。いちばんをめざして。」という主人公の言葉から始まります。ひたすら一番にこだわって走る主人公が、予想しなかったことに出くわし、一番になることの他にも大切なことがあると気づく物語です。

作者のイ・ハジン氏は、「『ぼくは かける』は私のはじめての絵本です。はじめてマラソンに挑戦した日のことを思い出しながら、この物語をつむぎました。」とコメントしています。主題である「仲間と協力して物事を成し遂げることの素晴らしさ」が子どもたちに伝わっていると嬉しいです。

運動会が終わると、次は音楽会です。今年の2学期は、学年の仲間と協力して取り組むことがたくさんあります。いろいろな場面で友だちと関わり、新たな一面を発見してほしいです。目標を同じくして、しんどい練習と一緒に乗り越えた仲間は、最強の友だちとなります。学年全体で素敵なハーモニーを創り出すために練習に励んで欲しいです。合唱も合奏もチームプレイです。音楽が得意な人は、苦手な人の分まで頑張ってください。音楽が苦手な人は、自分に与えられた役割を頑張ってください。どんなときも最強の友だちが一緒です。

引き続き音楽会に向けて頑張る子どもたちに励ましの声かけをお願いいたします。

全校集会で企画委員から運動会のスローガンが発表されました。

笑顔満祭

花里っ子の力を全て出しきろう



はなさと
オータムフェス
11月2日(日)
8:30~15:00
花里小学校グラウンド



行事予定は、まなびポケットにて配信しています。

今年も花里小学校自治協議会のオータムフェスが、本校運動場で開催されます。子どもたちが楽しめるように!と様々な催しが計画されています。たくさんのお子様に地域のみなさんとのふれ合いを楽しんでほしいと思っています。